

評価対象年度	平成24年度	施策評価シート(震災復興用)		政策	7	施策	4
施策名		4 安全・安心な地域社会の構築		施策担当 部局	環境生活部, 警察本部		
「宮城県震災復興計画」における体系		7 防災機能・治安体制の回復 【防災・安全・安心】		評価担当 部局 (作成担当 課室)	警察本部 (総務課)		

施策の方向 (「宮城の将来ビジョン・震災復興実施計画」の行動方針)	①警察施設等の早期機能回復及び機能強化 ◇ 震災により壊滅的な被害を受けた警察施設の復旧・強化を図るとともに、津波により流出した各種装備品を整備し、治安・防災体制の回復・充実に努める。
	②交通安全施設等の早期機能回復及び機能強化 ◇ 震災により甚大な被害を受けた交通安全施設について、道路の復旧に合わせて、震災に強い交通安全施設を早急に整備し、安全かつ円滑な交通環境を確保する。 ③防犯・防災に配慮した安全・安心な地域社会の構築 ◇ 安全・安心な地域社会の構築を図るため、各種広報手段による積極的な生活安全情報の提供に取り組むとともに、被災地を中心としたパトロール活動を強化するほか、防犯ボランティア活動の促進・活性化を図る。

決算(見込)額 (千円)	年度	平成23年度 (決算額)	平成24年度 (決算(見込)額)	平成25年度 (決算(見込)額)
	県事業費	3,164,994	2,291,658	-

※決算(見込)額は再掲分含む

目標指標等 ■達成度 A:「目標値を達成している」(達成率 100%以上) B:「目標値を達成しておらず、達成率が80%以上100%未満」 C:「目標値を達成しておらず、達成率が80%未満」 N:「実績値が把握できない等の理由で、判定できない」 ■達成率(%) フロー型:実績値/目標値 ストック型:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)		初期値 (指標測定年度)	目標値 (指標測定年度)	実績値 (指標測定年度)	達成度 達成率	計画期間目標値 (指標測定年度)	
	1	刑法犯認知件数(件)	24,614件 (平成22年)	23,500件 (平成24年)	19,561件 (平成24年)	A 453.6%	19,200件以下 (平成25年)

平成24年 県民意識調査	満足群の割合 (満足+やや満足)	不満群の割合 (やや不満+不満)	満足群・不満群 の割合による 区分
	39.8%	21.6%	II

※満足群・不満群の割合による区分

- I:満足群の割合50%以上
かつ不満群の割合25%未満
- II:「I」及び「III」以外
- III:満足群の割合50%未満
かつ不満群の割合25%以上

■ 施策評価（原案）		概ね順調
評価の理由		
目標指標等	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の治安情勢は、刑法犯認知件数が平成14年から11年連続で減少し、平成2年以來、22年ぶりに1万件台となったものの、年代別平均で最も少ない昭和50年代に比べいまだ高い水準にある。 	
県民意識	<ul style="list-style-type: none"> ・当該施策に係る平成24年県民意識調査結果は、高重視群が76.6%と高いが、満足度の「わからない」も38.6%と高い値であり、県民にあまり理解されていないと思われる。 ・沿岸部における不満群の割合21.3%は24施策中23番目であり不満度は低いものの、県全体の満足群の割合39.8%は24施策中16番目であることから、県民が施策に対し十分満足しているとは言えない。 	
社会経済情勢	<ul style="list-style-type: none"> ・刑法犯認知件数は減少しているものの、強盗や強制わいせつ等の重要犯罪、利殖勧誘事犯等の特殊詐欺事件が増加するなど、県民の治安に対する満足度は、十分とは言えない状況にある。 ・県内では、約5万人の方々が仮設住宅での不安な生活を余儀なくされている。 	
事業の成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・被災した警察施設（使用不能施設を除く137か所のうち、122か所は平成23年度に復旧済み。）のうち、13か所の増改築（復旧工事・修繕等）が完了したことにより、安全・安心な地域社会を構築できる警察活動を推進した。 ・滅灯信号機272基のうち、34基（累計259基、残13基は道路等の関係から復興時再整備）を復旧したほか、コンクリート製信号柱の折損による二次被害を防止するため、信号柱の鋼管柱化改良（96本）、信号灯器の節電、軽量化を図るため、灯器LED化改良（686灯）、交通信号機用電源付加装置の設置（50基）をするなどして、被災地等の交通安全対策を推進した。 ・仮設住宅における犯罪被害やトラブル防止を目的として、全住戸に対して防犯チラシを配布するとともに、高齢者世帯に対して「高齢者のための防犯ブック」を配布するなど、防犯情報や生活安全情報の提供を通じて被災住民の安全安心の確保を推進した。 	

※ 評価の視点： 目標指標等、県民意識、社会経済情勢、事業の実績及び成果等から見て、施策に期待される成果を発現させることができたかという視点で、総合的に施策の成果を評価する。

施策を推進する上での課題と対応方針（原案）	
課題	対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の発生に伴う仮設住宅での生活に際して、隣近所とのつながりが形成されていないことがうかがわれる状況にある。 ・被災地域における街区の復興及び道路の復旧が遅延しているとともに、集団移転促進事業等に係る総合的な交通規制が必要である。 ・不透明な社会・経済情勢が続く中、震災による避難生活の長期化等を背景とした犯罪の質的・量的悪化が懸念されるほか、新たな形態の犯罪の発生も懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの再生に合わせた防犯ボランティア活動を促進するなどして、仮設住宅、復興住宅、学校及び地域等を対象に、ボランティア活動への支援を行う必要がある。 ・市町の復興状況を注視しながら、被災した警察施設の本復旧、交通安全施設の再整備等について検討し、各施設の復旧を推進する。 ・新たな町並み整備に伴う総合的な交通規制を具現化するため、交通安全施設の整備を推進する。 ・被災地を中心としたパトロール活動及び駐留警戒の強化を図る。 ・仮設住宅の立ち寄りや巡回連絡等により、住民のニーズを把握し、被災地における安全・安心の醸成を図る。 ・新たな犯罪に対する即応体制、以後の震災等に万全を期すため、警察施設に防災拠点としての機能を持たせるなどの警察機能強化を図る。

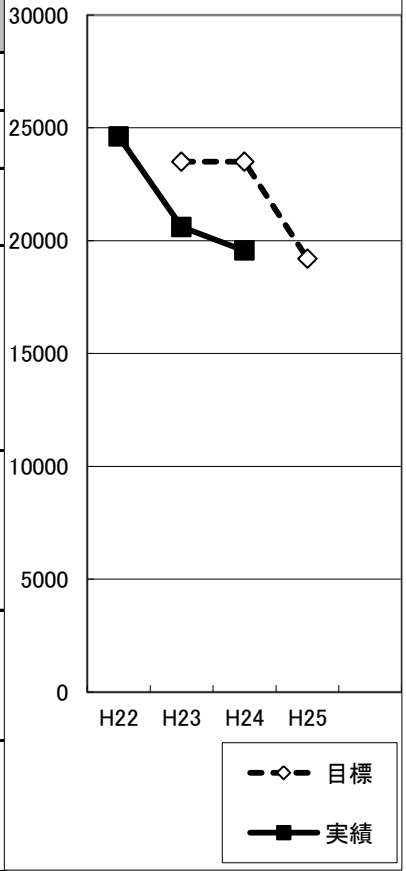
評価対象年度 平成24年度

政策 7 施策 4

目標指標等の状況

■達成率(%) フロー型:実績値/目標値 ストック型:(実績値-初期値)/(目標値-初期値)

1	目標指標等名 (下段:説明)	評価対象年度	初期値	H23	H24	H25	H26
	刑法犯認知件数(件) [フロー型]	指標測定年度	H22	H23	H24	H25	-
	目標値	-	23,500	23,500	19,200	-	
	実績値	24,614	20,605	19,561	-	-	
	達成率	-	359.9%	453.6%	-	-	
目標値の 設定根拠	<p>・県内の刑法犯認知件数は,昭和21年以降年代別に10年単位で比較すると,昭和50年代の平均17,819件が最低となる。よって,今後10年間で,昭和50年代の17,000件台を目指し,5年後の平成29年までに全刑法犯認知件数を18,000件以下とすることを目標とし,前年の件数を上回ることのないよう,減少傾向の更なる定着化を図るものである。</p>						
実績値の 分析	<p>・県内の治安情勢は,刑法犯認知件数が平成14年から11年連続で減少し,平成22年以來,22年ぶりに1万件台となったものの,年代別平均で最も少ない昭和50年代に比べいまだ高い水準にある。</p>						
全国平均 値や近隣 他県等と の比較	<p>・全国の刑法犯認知件数は,平成20年の1,818,023件から平成24年は1,382,121件に,率にすると約30.0%減少しているのに対し,宮城県においては平成20年の28,583件から平成24年は19,561件に,率にすると約31.6%減少している。</p>						



評価対象年度 平成24年度

政策 7 施策 4

県民意識調査結果									
調査実施年度 (調査名称)			平成24年度 (平成24年県民意識調査)		平成25年度 (平成 年県民意識調査)		平成 年度 (平成 年県民意識調査)		
県 全 体	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	38.9%	76.6%				
		やや重要		37.7%					
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	7.6%	9.3%				
		重要ではない		1.7%					
		分からない		14.1%					
		調査回答者数		1,940					
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	7.1%	39.8%				
		やや満足		32.7%					
		やや不満	不満群 の割合	15.6%	21.6%				
		不 満		6.0%					
		分からない		38.6%					
		調査回答者数		1,915					
沿 岸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	37.9%	76.8%				
		やや重要		38.9%					
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	7.2%	9.2%				
		重要ではない		2.0%					
		分からない		13.9%					
		調査回答者数		796					
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	5.8%	39.0%				
		やや満足		33.2%					
		やや不満	不満群 の割合	14.9%	21.3%				
		不 満		6.4%					
		分からない		39.6%					
		調査回答者数		777					
内 陸 部	この 施策に 対する 重視 度	重 要	高重視群 の割合	39.6%	76.5%				
		やや重要		36.9%					
		あまり重要で はない	低重視群 の割合	7.9%	9.4%				
		重要ではない		1.5%					
		分からない		14.2%					
		調査回答者数		1,137					
	この 施策に 対する 満足 度	満 足	満足群 の割合	8.0%	40.3%				
		やや満足		32.3%					
		やや不満	不満群 の割合	16.1%	21.8%				
		不 満		5.7%					
		分からない		37.8%					
		調査回答者数		1,131					

※ 沿岸部 : 沿岸15市町
内陸部 : 沿岸部以外の市町村

評価対象年度	平成24年度
--------	--------

政策	7	施策	4
----	---	----	---

宮城県震災復興推進事業											
評価番号	事業番号	事業名	平成24年度 決算見込額 (千円)	事業の状況							
		事業主体等	特記事項	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
1	① 01	警察本部機能強化事業	51,794	警察本部庁舎及び運転免許センターの一部が損傷しており、万全な警察体制を確保する必要があるため、「庁舎機能復旧」、「庁舎機能拡充」及び「庁舎機能再生・高度化」を柱として取組を進める。				<ul style="list-style-type: none"> 警察本部庁舎低層棟災害復旧工事(設計) 中央監視装置更新(設計) 本部庁舎課室改修(設計) 石巻運転免許センターの修繕工事(完了) 			
		緊急 警察本部装備施設課ほか	ビジョン 関連:取組25	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性 妥当 ある程度成果があった 概ね効率的 維持				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25 - 137,771 51,794 -			
	事業概要 平成24年度の実施状況・成果 多数の警察施設が流出又は損壊の壊滅的被害を受けるなどしており、治安維持の体制整備が必要のため、警察施設の早期機能回復・強化を図る。 <ul style="list-style-type: none"> 気仙沼警察署建設造成測量・設計 気仙沼警察署建設工事基本・実施設計 仮庁舎等土地建物賃借(19件) 										
2	① 02	警察施設機能強化事業	67,453	多数の警察施設が流出又は損壊の壊滅的被害を受けるなどしており、治安維持の体制整備が必要のため、警察施設の早期機能回復・強化を図る。				<ul style="list-style-type: none"> 気仙沼警察署建設造成測量・設計 気仙沼警察署建設工事基本・実施設計 仮庁舎等土地建物賃借(19件) 			
		緊急 警察本部警務課ほか	ビジョン 関連:取組25	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性 妥当 ある程度成果があった 概ね効率的 維持				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25 - 567,075 67,453 -			
	事業概要 平成24年度の実施状況・成果 防犯・防災に配慮した安全・安心な地域社会の構築を図るため、一部損傷等被災した警察施設の増改築を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 被災した警察施設の復旧工事等を行った。 H24復旧完了施設数13か所 										
3	① 03	各所増改築事業	396,915	防犯・防災に配慮した安全・安心な地域社会の構築を図るため、一部損傷等被災した警察施設の増改築を行う。				<ul style="list-style-type: none"> 被災した警察施設の復旧工事等を行った。 H24復旧完了施設数13か所 			
		緊急 警察本部地域課	ビジョン 関連:取組25	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性 妥当 ある程度成果があった 概ね効率的 維持				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25 - 189,682 396,915 -			
	事業概要 平成24年度の実施状況・成果 災害対策活動の拠点としての機能を向上させるため、多大な被害を受けた宮城県警察航空隊施設を早急に復旧・強化する。 <ul style="list-style-type: none"> 非常用発動発電設備新設整備 										
4	① 05	警察航空隊施設機能強化事業	28,744	災害対策活動の拠点としての機能を向上させるため、多大な被害を受けた宮城県警察航空隊施設を早急に復旧・強化する。				<ul style="list-style-type: none"> 非常用発動発電設備新設整備 			
		緊急 警察本部装備施設課ほか	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性 妥当 ある程度成果があった 概ね効率的 維持				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25 - - 28,744 -			
	事業概要 平成24年度の実施状況・成果 警察署に設置されている非常用発動発電設備は、老朽化が著しく容量が小さいことから、災害に強い警察施設の構築を図るため、容量がより大きな非常用発動発電設備を早期に整備する。 <ul style="list-style-type: none"> 非常用発動発電設備更新整備 4施設 ※仙台東, 塩釜, 大和, 佐沼 										
5	① 06	警察署非常用発動発電設備強化事業	51,079	警察署に設置されている非常用発動発電設備は、老朽化が著しく容量が小さいことから、災害に強い警察施設の構築を図るため、容量がより大きな非常用発動発電設備を早期に整備する。				<ul style="list-style-type: none"> 非常用発動発電設備更新整備 4施設 ※仙台東, 塩釜, 大和, 佐沼 			
		緊急 警察本部装備施設課	ビジョン ※取組31	事業の分析結果 ①必要性 ②有効性 ③効率性 次年度の方向性 妥当 成果があった 効率的 維持				年度別決算(見込)額(千円) H22 H23 H24 H25 - - 51,079 -			
	事業概要 平成24年度の実施状況・成果 警察署に設置されている非常用発動発電設備は、老朽化が著しく容量が小さいことから、災害に強い警察施設の構築を図るため、容量がより大きな非常用発動発電設備を早期に整備する。 <ul style="list-style-type: none"> 非常用発動発電設備更新整備 4施設 ※仙台東, 塩釜, 大和, 佐沼 										

6	① 07	各種警察活動装 備品等整備事業	135,726	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				治安維持に必要な基盤の早期回復を図るため、使用不能となった警察装備資機材及び大規模災害発生時等の各種活動に必要な装備品について早急に補充・整備する。				・録画記憶式監視装置4台,張込用監視通報装置9台整備 ・ヘリコプターテレビシステム地上設備更新 ・原子力災害装備品,災害対策用装備資機材の整備			
緊急	警察本部捜査第三課,警備課,機動隊	ビジョン 関連:取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	215,688	135,726	-	
7	① 08	緊急配備支援システム整備事業	964	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				復興作業に伴う県内への流入人口の増加や震災による生活困窮を理由とした窃盗事件等の各種犯罪の増加が予測されることから、緊急配備支援システム等を整備し、治安維持体制を確保する。				・東日本大震災の津波被害により流出した緊急配備支援システム路上用鋼管柱の建柱工事(1か所)			
緊急	警察本部刑事総務課	ビジョン 関連:取組25	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	廃止	-	-	964	-	
8	① 09	警察職員宿舍整備事業	18,188	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				震災により多くの宿舍が損壊し、沿岸部の宿舍にあっては、流出・水没等により使用不能となったことから、職員の生活基盤を確保するとともに、災害に強い宿舍の再生のため、被災宿舍の復旧工事及び仮設宿舍の建設を行うとともに、老朽宿舍の建替など計画的に職員宿舍の整備を行う。				・被災した職員宿舍の復旧工事等(5施設) ・築館警察署くりはら寮(復旧工事) ・古川警察署福沼職員宿舍(復旧工事) ・仙台市北部警察官待機宿舍(修繕) ・愛子職員宿舍(修繕) ・将監職員宿舍(修繕)			
緊急	警察本部装備施設課	ビジョン 関連:取組25	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	ある程度成果があった	概ね効率的	維持	-	868,435	18,188	-	
9	② 01	交通安全施設復旧整備事業	885,760	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				災害復興活動に従事する車両等の交通の安全と円滑な交通環境を確保するため、甚大な被害を受けた交通管制センター、交通信号機及び道路標識等の交通安全施設を早急に整備する。				・道路標識・標示復旧 一式 ・滅灯信号機 34基			
緊急	警察本部交通規制課	ビジョン 関連:取組25	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	廃止	-	1,125,058	885,760	-	
10	② 02	緊急輸送交通管制施設整備事業	114,343	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				災害時における緊急交通路の円滑化や迅速な救援活動を支援する交通環境を確保するため、交通管制センター端末機器や交通信号機の付加装置等を整備する。				・交通信号機用電源付加装置(自起動式)設置 50基			
緊急	警察本部交通規制課	ビジョン ※取組31	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	拡充	-	35,668	114,343	-	

11	② 03	震災に強い交通安全施設整備事業	171,526	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				折損しない鋼管製信号柱への改良や信号灯器の軽量化のための信号灯器のLED化改良等、震災時に対応可能な交通安全施設を整備する。				<ul style="list-style-type: none"> ・信号柱の鋼管柱化改良96本 ・信号灯器のLED化改良686灯 			
緊急	警察本部交通規制課	ビジョン 関連：取組31	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	拡充	-	56,265	171,526	-	
12	② 04	震災に強い交通管制センター整備事業	363,636	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				震災復興等における交通の安全で円滑な道路環境を実現するため、最新の情報通信技術を活用した震災に強い交通管制センターを構築します。				<ul style="list-style-type: none"> ・交通管制中央装置標準化 一式 ・交通管制端末装置高度化改良 一式 ・交通監視用テレビ装置設置 4基 			
緊急	警察本部交通規制課	ビジョン 関連：取組31	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	拡充	-	-	363,636	-	
13	③ 01	生活安全情報発信事業	1,059	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				関係機関と連携した被災地に居住する住民の安全安心の確立が求められていることから、避難所、応急仮設住宅、学校等を対象に、各種広報手段を活用し、防犯情報や生活安全情報等の提供を行う。				<ul style="list-style-type: none"> ・防犯チラシ、ポスター等の作成（9種、159,000部） ・「みやぎSecurityメール」による情報発信（716件配信） ・県警ホームページによる情報提供 ・県警作成の地域安全ニュース「きずな」の発行（40件発行） 			
緊急	警察本部生活安全企画課	ビジョン 関連：取組25	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	維持	-	1,029	1,059	-	
14 -1	③ 02	地域安全対策推進事業	4,471	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				安全・安心な地域社会を構築するためには、被災地を中心としたパトロール活動の強化と不在交番の解消を図る必要があることから、その役割を担う交番相談員を増員する。また、県内全域における地域の安全対策に向け、警察安全相談員及び交番相談員の適切な配置を進める。				<ul style="list-style-type: none"> ・交番相談員の配置（29人配置）平成24年度2人増員 ・交番相談員による活動件数は、各種相談、地理案内、遺失届の受理など（74,325件） ・平成24年度中、2人が仙台北警察署八幡交番、石巻警察署蛇田交番に増員配置され、地域パトロールの強化と不在交番の解消に成果があったほか、蛇田交番は被災地対策としても成果があった。 			
緊急	警察本部県民相談課、地域課	ビジョン 取組25	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	効率的	拡充	-	2,232	4,471	-	
14 -2	③ 02	地域安全対策推進事業	-	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				安全・安心な地域社会を構築するためには、被災地を中心としたパトロール活動の強化と不在交番の解消を図る必要があることから、その役割を担う交番相談員を増員する。また、県内全域における地域の安全対策に向け、警察安全相談員及び交番相談員の適切な配置を進める。				<ul style="list-style-type: none"> ・警察安全相談員の配置（県内10警察署に10人配置） ・警察安全相談員による相談の受理（2,769件） 			
緊急	警察本部県民相談課、地域課	ビジョン 取組25	事業の分析結果				年度別決算（見込）額（千円）				
			①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25	
			妥当	成果があった	-	拡充	-	-	-	-	

15	③ 05	防災リーダー養成事業との連携事業	非予算的手法	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				防犯・防災に配慮した安全・安心な地域社会の構築を図るため、県が実施する防災リーダー養成等の事業や防災訓練、避難訓練等を通じた防災体制確立に関して、警察的見地から連携等を行う。				<ul style="list-style-type: none"> 災害対策担当者研修会の実施 みやぎ県民防災の日に伴う教養の実施 災害警備担当者に対する警察学校教養の実施 			
		警察本部警備課	7③① 再掲	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
			ビジョン 関連:取組33	①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	ある程度 成果が あった	—	維持	-	-	-	-
16	③ 06	防災計画策定・防災訓練等開催事業	非予算的手法	事業概要				平成24年度の実施状況・成果			
				今後の震災に備えるため、各自治体の防災計画、防災訓練の企画及び実施への参画並びに県庁内各部署、各自治体、消防等防災関係機関の災害担当者による定期的な会議に参画する。				<ul style="list-style-type: none"> JR東日本との合同の災害対策訓練参加 仙台市総合防災訓練参加 「みやぎ県民防災の日」災害警備訓練の実施 栗原市総合防災訓練参加 9.1総合防災訓練参加 津波防災の日に伴う訓練 			
		警察本部警備課 ほか	ビジョン 関連:取組33	事業の分析結果				年度別決算(見込)額(千円)			
				①必要性	②有効性	③効率性	次年度の方向性	H22	H23	H24	H25
				妥当	ある程度 成果が あった	—	維持	-	-	-	-
決算(見込)額計			2,291,658								
決算(見込)額計(再掲分除き)			2,291,658								